

株主・投資家の皆様へ (第81期報告書)

2019年4月1日～2020年3月31日



さらなる価値の創造へ。

株式会社 **エスライン**

証券コード:9078

トップメッセージ



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社は2020年3月31日をもって、第81期事業年度（2019年4月1日から2020年3月31日まで）を終了いたしましたので、ここに報告書をお届けし、事業の概況等につきまして、次のとおりご報告申し上げます。

2020年6月



代表取締役社長
山口嘉彦

営業の概況

当社グループの主要な事業であります物流関連業界におきましては、消費増税や暖冬による消費活動の減退に加えて、新型コロナウイルスの感染症の流行から、貨物輸送量が日を追うごとに減少するなかにあって、ドライバーを中心とした労働力の慢性的な不足、さらには原油価格の不安定な

状況も懸念される等、当社グループを取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは、本年度を初年度とする中期経営計画（スローガン：「エスラインブランドの価値向上」Think next Value.）の経営目標の達成と企業価値の向上に向

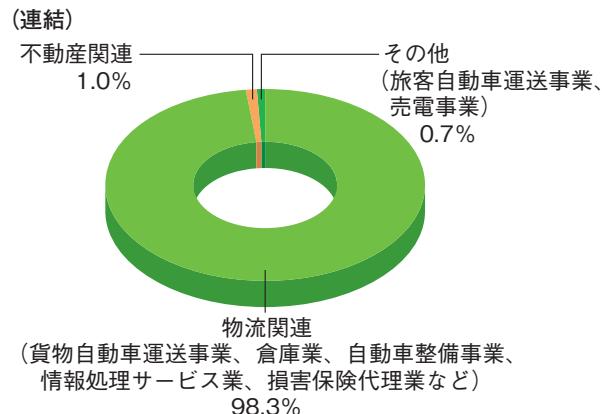
けて、グループ一丸となって取り組んでまいりました。

しかしながら、収入が伸び悩むなかで、備車費や外部委託費等の営業費用が上昇したことにより、当連結会計年度の業績は、営業収益489億99百万円（前期比0.3%減）、営業利益9億74百万円（前期比42.3%減）、経常利益10億58百万円（前期比39.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は(株)エスラインギフにおける固定資産の譲渡に伴う固定資産売却益を特別利益として計上したこともあり、31億18百万円（前期比221.7%増）となりました。

対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、昨年10月の消費増税を契機に景気は後退局面に入り、さらに新型コロナウイルスの感染拡大が景気悪化に一層の拍車をかけるものと想定されます。物流関連事業におきましても、企業の生産活動や個人の消費活動は弱い動きが続く等、取扱い貨物輸送量の増加はしばらく期待できないものと予想されます。また、慢性的な労働力不足や改正労働法施行による残業

売上構成比



時間の規制強化等、労働環境の改善への取り組みによる人件費の増加や、さらには、安全運転や環境対応に向けた車両や安全装置の導入等、コストの増加要因が見込まれ、当社を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続くことが予想されます。

このような環境のもと、当社グループでは、お客様に納得いただける、高品質で安定した輸送

トップメッセージ

サービスを提供しながら、運賃改定や諸料金の收受等の料金交渉を引き続き進めてまいります。また、通信型デジタルタコグラフのデータから、ドライバーの稼働状況や車両の運行状況を分析し、ドライバーに対し、適切な労働時間管理、人員の適正配置を図り、運行コースの見直しを行い、自社内の作業・運行効率を高めることにより、備車依存率の低下を図り、利益率を高めてまいります。

また、2020年3月期を初年度とする3か年の中期経営計画は2年目を迎えます。中期経営計画の柱のひとつであります事業構造改革「輸送サービスの充実」の取り組みとしましては、当社グループの拠点多く点在する中部地区をドミナントエリアとし、「配車センター」の開設によって、幅

広く荷物を確保し、当社グループの車両を適切に配車し、機会損失を減らすことで収益の拡大と保有車両の稼働率アップによる利益改善に取り組んでまいります。同じく中部地区に「コンテナセンター」を開設します。名古屋港に入港するコンテナのデバンニング案件の集約を図り、サービス内容の充実に努めてまいります。

また、「物流サービスの拡大」においては、本年10月に(株)スリーエス物流の新物流センターを稼働し、クロスドック(XD)およびディストリビューションセンター(DC)として、質の高い保管・配送サービスを行うことにより、お客様の多様なニーズにお応えし、物流サービスの事業拡大に取り組んでまいります。

財務ハイライト

営業収益

489億99百万円 前期比△0.3%

(単位：百万円)



経常利益

10億58百万円 前期比△39.8%

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

31億18百万円 前期比221.7%

(単位：百万円)



過去最高

セグメント情報

物流関連事業

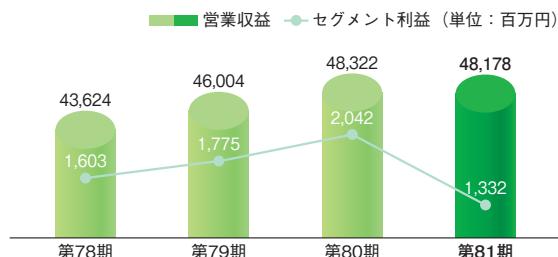
貨物自動車運送事業、倉庫業、自動車整備事業、
情報処理サービス業、損害保険代理業など

物流関連事業の主な事業収益は、貨物自動車運送事業、倉庫業、自動車整備事業、情報処理サービス業、損害保険代理業等であり、主なサービスとしましては、「輸送サービス」「物流サービス」「ホームサービス」の3つの部門があります。

トラックによる企業間輸送を主とする輸送サービス部門では、運賃改定や諸料金の収受に向けた営業活動を引き続き進めるとともに、新規取引先の開拓にも取り組みました。その結果、運賃改定につきましては、一定の成果を残せましたものの、天候不順の影響、大型連休による営業日数の減少、さらには消費増税による消費マインドの冷え込みや新型コロナウイルスの感染拡大の影響による社会経済活動の抑制と停滞もあり、当社の主力事業であります特別積合せ貨物運送事業の貨物輸送量が、前年を大きく下回ったことにより、減収となりました。

商品保管や物流加工を行う物流サービス部門では、従来からの飲料、自動車関連部品、一般雑貨商品、夏冬タイヤの保管業務に加え、(株)スリーエス物流では、菓子卸問屋様の保管と配送業務の受注増に向けた取り組みを行う等、商品保管と配送面

481億78百万円 前期比△0.3%



を組み合わせた一貫物流サービスの拡大をいたしました。また、(株)エスライン郡上では、昨年5月に移動ラック式定温管理倉庫を新築し、医薬部外品の保管業務を新たに開始いたしました。また、(株)エスラインギフでは、昨年10月に飲料保管用の自動ラック倉庫を建築し、入出庫および保管業務を積極的に展開したことにより、保管収入は増収となりました。しかしながら、衣料品量販店や大手流通グループの専門店でも販売不振および新型コロナウイルス感染症の影響で加工業務が減少または停止となったことにより、加工収入は減収となりましたが、物流サービス部門全体では増収となりました。



(株)スリーエス物流での菓子卸問屋様の保管配送業務

セグメント情報

大型貨物の個人宅配や引越しを行うホームサービス部門では、お取引のある家電量販店様の洗濯機・冷蔵庫といった白物家電の販売好調と料金改定に加え、昨年10月の消費増税前の駆け込み需要もあって、配送および設置業務が大幅に増加しま



「スワロー引越便」のPRステッカー

した。

また、引越しサービスについては、「スワロー引越便」のPR活動の効果や、これまでの引越実績の評価等もあり、法人関係の

引越受注を順調に獲得することができました結果、ホームサービス部門全体では増収となりました。

以上の結果、物流関連事業全体では、わずかながら減収となりました。

一方、利益面では、貨物輸送量の鈍化による減収と、ドライバー不足や休日の配送業務に対応するための備車費・外部委託費が増加したことにより減益となりました。

この結果、物流関連事業の営業収益は481億78百万円（前期比0.3%減）となりました。

不動産関連事業

不動産賃貸業

不動産関連事業におきましては、当社グループ各社にて保有している不動産の有効活用を図るために、外部への賃貸事業を営んでまいりました。従来からの賃貸物件の一部について賃料の改定を行い、また、昨年6月には(株)エスラインギフ西淀川支店の移転に伴う跡地の賃貸を開始しました。本年3月には(株)エスラインギフが外部に賃貸しておりました東京都江東区の土地および建物を売却したことによる賃料の減少もありましたが、不動産関連事業全体では増収となりました。

4億86百万円

前期比4.2%



この結果、不動産関連事業の営業収益は4億86百万円（前期比4.2%増）となりました。

その他事業

旅客自動車運送事業、売電事業

その他事業におきましては、旅客自動車運送事業および売電事業を営んでおります。旅客自動車運送事業におきましては、岐阜市内の高校や近隣の大学の通学バスや冠婚葬祭時の送迎バス等、地元に着した運行業務に取り組みました。

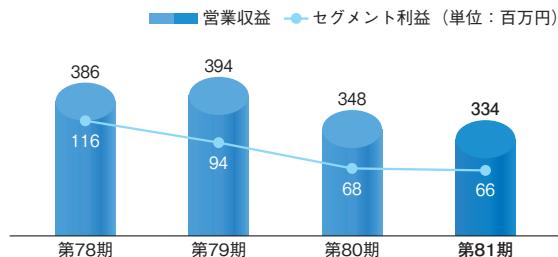


新たに認定を受けた「貸切バス事業者安全性評価認定」

また、売電事業におきましては、(株)エスラインギフの名古屋第1・第2センター、豊橋支店、豊田支店、豊田センターおよび(株)スリーエス物流の

3億34百万円

前期比△4.0%



本社第1センターの計6か所で発電を行っております。(総発電量1,333.96kW)

この結果、その他事業の営業収益は3億34百万円(前期比4.0%減)となりました。

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	第81期 2020年3月31日現在	第80期 2019年3月31日現在
資産の部		
流動資産	13,674	11,464
固定資産	26,922	25,214
有形固定資産	24,592	22,685
無形固定資産	114	97
投資その他の資産	2,215	2,430
資産合計	40,597	36,678
負債の部		
流動負債	8,937	8,409
固定負債	7,838	7,160
負債合計	16,776	15,570
純資産の部		
株主資本	23,519	20,853
その他の包括利益累計額	301	254
純資産合計	23,821	21,108
負債純資産合計	40,597	36,678

ポイント

■資産

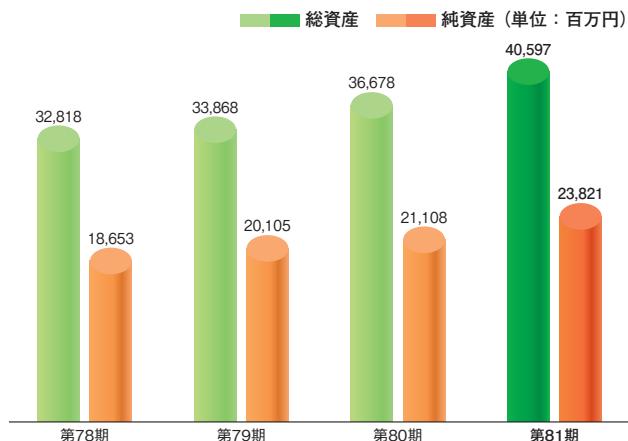
連結資産合計は405億97百万円（前連結会計年度末366億78百万円）となり、前連結会計年度末比39億18百万円増加しております。この主な要因は、固定資産の譲渡に伴う現金及び預金の増加と有形固定資産の増加であります。

■負債

連結負債合計は167億76百万円（前連結会計年度末155億70百万円）となり、前連結会計年度末比12億5百万円増加しております。この主な要因は、繰延税金負債の増加であります。

■純資産

連結純資産合計は238億21百万円（前連結会計年度末211億8百万円）となり、前連結会計年度末比27億12百万円増加しております。この主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。



連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第81期	第80期
	2019年4月1日から 2020年3月31日まで	2018年4月1日から 2019年3月31日まで
営業収益	48,999	49,136
営業原価	46,299	45,696
営業総利益	2,700	3,439
販売費及び一般管理費	1,726	1,752
営業利益	974	1,687
営業外収益	113	101
営業外費用	29	33
経常利益	1,058	1,756
特別利益	4,035	40
特別損失	147	301
税金等調整前当期純利益	4,945	1,496
法人税等	1,826	526
当期純利益	3,118	969
親会社株主に帰属する当期純利益	3,118	969

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	第81期	第80期
	2019年4月1日から 2020年3月31日まで	2018年4月1日から 2019年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	2,283	2,600
投資活動による キャッシュ・フロー	791	△3,566
財務活動による キャッシュ・フロー	△541	1,388
現金及び現金同等物に 係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物 の増減額	2,532	422
現金及び現金同等物 の期首残高	4,432	4,009
現金及び現金同等物 の期末残高	6,965	4,432

ポイント

■営業活動によるキャッシュ・フロー

22億83百万円の収入（前期は26億円の収入）となりました。この主な収入は、税金等調整前当期純利益と減価償却費の計上であります。

■投資活動によるキャッシュ・フロー

7億91百万円の収入（前期は35億66百万円の支出）となりました。この主な要因は、固定資産の売却による収入と固定資産の取得による支出であります。

■財務活動によるキャッシュ・フロー

5億41百万円の支出（前期は13億88百万円の収入）となりました。この主な支出は、配当金の支払と自己株式の取得による支出によるものであります。

この一年の主な出来事

施設の新社

物流センターがオープンしました。

㈱エスライン郡上において、岐阜県郡上市に、医薬品・医薬部外品等の生産を行う企業様の物流業務全般を請け負う施設として、物流センターが新築オープンしました。新施設は、最大2,048パレットを収容可能な「移動式ラック」や製品の定温管理のための「全館空調設備」を導入し、限られた人員・スペースを最大限に活かし、より質の高い物流サービスをご提供していきます。(平屋建・延床面積1,879.58㎡)



(株)エスライン郡上

施設の新社

物流センターを新築します。

㈱スリーエス物流において、愛知県一宮市に、物流サービス事業(3PL)の拡大、また作業領域および業容の拡大を図るため、新たな物流センターを建築しています。このセンターでは、保管能力の向上に加え既設の物流センターとの提携によって、これまで以上にお客様からの多様なニーズにお応えしていきます。

(2階建・延床面積11,597.50㎡、2020年9月完成予定)



(株)スリーエス物流

2019

4

5

5/10
決算発表

6

6/27
定時株主総会

7

8

8/8
第1四半期
決算発表

9

IR活動(5月・11月)

決算説明会を開催しました。

5月(参加者20名)および11月(参加者16名)に、決算説明会を東京で開催しました。ここでは、最終年度を迎えた前中期経営計画の総括や、新中期経営計画に向けての経営戦略の基本方針の説明をしました。



(株)エスライン

IR活動(7月)

名証IRエキスポに参加しました。

名古屋証券取引所主催のIRイベント「名証IRエキスポ」に出展しました。(参加者223名)毎年足を運んでいただいている地元、岐阜・愛知の当社ファンの皆様より、多数の激励のお言葉をいただきました。



(株)エスライン

IR活動(8月)

日経IR・個人投資家フェア2019に初めて参加しました。

日本経済新聞社主催の日本最大級のIRイベント「日経IR・個人投資家フェア2019」に初めて出展しました。(参加者242名)大変盛況で大勢の個人投資家の皆様にお立ち寄りいただきました。関東ではまだまだ知名度が低いため、より多くの投資家の皆様にアピールする貴重な場として、今後も継続して参加していきたいと考えております。



(株)エスライン

IR活動(9月)

個人投資家向け会社説明会を開催しました。

昨年に引き続き、個人投資家向け会社説明会を名古屋で開催しました。(参加者147名)今回はじめて当社の説明会に参加した、という方もおられ、多数のご意見・ご質問をいただきました。



(株)エスライン

施設の新設

飲料保管自動倉庫がオープンしました。

(株)エスラインギフにおいて、岐阜県岐南町の本社敷地内に、飲料製品の出入庫・保管・輸送を行う施設として、飲料保管自動倉庫が新築オープンしました。中部地区最大級の自動ラックスシステムの導入により、省人化かつ効率化に加え、安全性を兼ね備えた倉庫で、時代の最先端をいく物流を創造していきます。

(平屋建・延床面積17,991.99㎡)



(株)エスラインギフ

施設の建替

川口支店がリニューアルします。

(株)エスラインギフ川口支店において、1973年に開設して以来、老朽化が進んでいる施設の建替を行います。また、この施設は家電を取扱う南埼玉センターも同居しており家電配送センターとしての役割も担っています。現在は、第1期工事として特別積合せ部門の川口支店の事務所および南埼玉センターの事務所・倉庫部分を建築しています。

(2階建・延床面積5,506.21㎡)



(株)エスラインギフ

10

11

11/7
第2四半期
決算発表

12

2020

1

2

2/10
第3四半期
決算発表

3

品質向上活動

貸切バス事業者安全性評価認定(スター)を新規取得しました。

(株)エスラインギフバス事業部において、公益社団法人日本バス協会が実施する認定制度「貸切バス事業者安全性評価認定(スター)」を受けました。このシンボルは、お客様が安心してバス会社を選択できるよう、安全に対する取組状況が優良な事業者であることを示すものです。今後も引き続き、多くのお客様に利用していただけるよう安全運行に努めてまいります。



(株)エスラインギフ

品質向上活動・表彰関係

優良フォークリフト等運転者表彰を受賞しました。

永年にわたり安全運転や安全作業に努め、模範となる運転者として、陸上貨物運送事業労働災害防止協会より、(株)エスラインギフの社員、川上賢志さんが「優良フォークリフト等運転者表彰」を受賞しました。川上賢志さんは、「2018年度フォークリフト運転競技岐阜県大会」で優勝し、社内においても安全研修会にて、フォークリフト操作の教育にあたるなど、労災事故防止に努めております。



(株)エスラインギフ

表彰関係

優秀安全運転事業所表彰を受賞しました。

岐阜県警より、永年にわたり安全運転・交通事故防止に努めている事業所として、当社グループ会社・各事業所が優秀安全運転事業所表彰を受賞しました。



金賞 (株)エスラインギフ 浜松支店

銀賞 (株)エスラインギフ 豊田支店・摂津支店
(株)スワロー物流 東京

銅賞 (株)エスラインギフ 本社・京都支店
(株)スワローセキュリティーサービス

(株)エスラインギフ・(株)スワロー物流 東京・(株)スワローセキュリティーサービス

飲料保管自動倉庫オープン

中部地区

最大級・最先端



飲料保管自動倉庫

入庫



カスケード
リフトによる
2パレット
同時荷卸し



コンベヤ、無人台車、
スタッカークレーンによる
作業の自動化

無人化の実現により
安全性の確保



省人化により倉庫内の
人員・移動が**最小限**に

保管



ラベルの自動読み取りにより
データ管理を実現



最大10,624パレット
収容可能な
巨大なラックによる
高密度保管

POSでの
リアルタイム管理



お客様の指示に従い
ボタン一つで
トラック配車別の自動出庫



出庫

中期経営計画

新中期経営計画「『エスラインブランドの価値向上』 Think next Value」 2020年3月期～2022年3月期（3か年）

基本方針

輸送ネットワークと拠点物流サービスを人材・品質・技術で強化拡充する



組織体制の改革・人材確保と育成・営業サービスの強化
業務の効率化と生産性向上・先進技術の導入

経営目標

2022年3月期（最終年度）	
営業収益	560億円
経常利益	25億7千万円
ROE	6.5%
自己資本比率	50%以上

今期の取り組み事項

輸送サービスの充実（中部地区ドミナント戦略）

- 「配車センター」の開設
(当社グループの中部地区の車両の適切な配車・稼働率の向上)
- 「コンテナセンター」の開設
(名古屋港に入港する輸入貨物にかかる全ての作業の一括対応)

物流サービスの拡大

- 「(株)スリーエス物流第3センター」の稼働開始
(クロスドック(XD)およびディストリビューションセンター(DC)として、お客様の多様なニーズに対応)

働き方改革

- 人事採用担当の配置
(ドライバーの適切な労働時間管理や人員の適正配置を図り、自社内の作業・運行効率を高める)

基本戦略

■事業構造の改革

- グループネットワークを活かした事業を、戦略的連携により展開します。
- 収益構造を変革し、営業利益の向上を図ります。



『エスラインブランド』の価値向上

事業構造の構築

- 事業特性を更に発展させる新たなグループ連携体制の構築
- 共通機能の組織の強化
(事業企画、マーケティング、業務オペレーションなど)
→社会環境や経済情勢への変化に迅速、且つ、柔軟に対応

事業戦略室の役割

- 新事業の調査と企画
- 事業連携の強化支援
- 先進技術の導入による安全と品質の向上と業務の効率化
- 人材の確保と育成
- 働き方改革の推進と人材活用
- 社員の意識改革の促進
- 社内風土の醸成を図るための企業環境の整備
- 稼働後の事業評価



<先進技術とは>
車載端末、ドライバー情報端末、マテハン、RPA、AI活用、IoT、高速通信網、画像認識、バイタルデータ分析等

会社の状況

会社概要 (2020年3月31日現在)

社名	株式会社エスライン
英文社名	S LINE CO.,LTD.
設立	1947年3月10日
資本金	22億3,773万1,515円
上場取引所	東京・名古屋証券取引所 市場第一部
本社所在地	岐阜県羽島郡岐南町平成四丁目68番地 電話 (058) 245-3131 (代表)
従業員数	2,114名 (連結)

役員 (2020年6月26日現在)

代表取締役社長	山口 嘉彦
取締役	堀江 繁幸
取締役	白木 武
取締役	桑原 等
取締役	青木 浩一
取締役	加藤 孝一
取締役	笠井 大介
取締役相談役	村瀬 博三
取締役 (常勤監査等委員)	村瀬 明治
社外取締役 (監査等委員)	中村 源次郎
社外取締役 (監査等委員)	岡本 実

グループ会社一覧

The map shows the locations of various group companies across Japan, with arrows pointing from the main office in Gifu to regional offices in Sapporo, Fukuoka, Osaka, Kyoto, Nagoya, and Tokyo. The map is overlaid on a background image of a highway interchange.

持株会社 エスライン	スワログループ スリーエス物流 (愛知県一宮市) スワロ急送 (岐阜県岐阜市) スワロ物流 (岐阜県羽島郡笠松町) スワロ物流東京 (埼玉県川口市) スワロ物流浜松 (静岡県浜松市) スワロ物流大阪 (大阪府東大阪市) スワロ物流福岡 (福岡県糟屋郡粕屋町) スワロ物流上尾 (埼玉県上尾市) スワロセキュリティサービス (岐阜県羽島郡岐南町) スワロロジックス (愛知県清須市) エストピア (岐阜県羽島郡岐南町)
エスライングループ エスラインギフ (岐阜県羽島郡岐南町) エスライン九州 (鹿児島県鹿児島市) エスラインヒダ (岐阜県高山市) エスライン羽島 (岐阜県羽島市) エスライン郡上 (岐阜県郡上市) エスラインミノ (岐阜県羽島郡岐南町) エスライン各務原 (岐阜県各務原市) エスライン奈良 (奈良県天理市)	宅配110番グループ 宅配百十番岐阜 (岐阜県羽島郡岐南町)

株式の状況 (2020年3月31日現在)

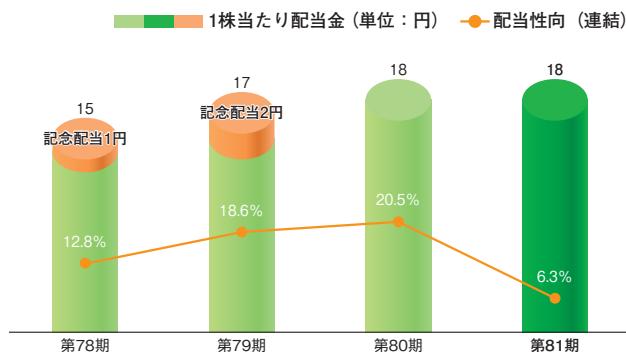
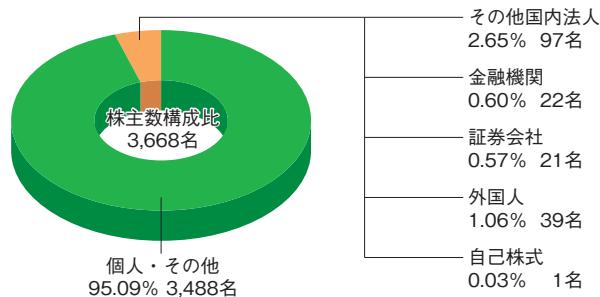
株式の状況

発行可能株式総数	40,847,000株
発行済株式の総数	11,095,203株
株主数	3,668名

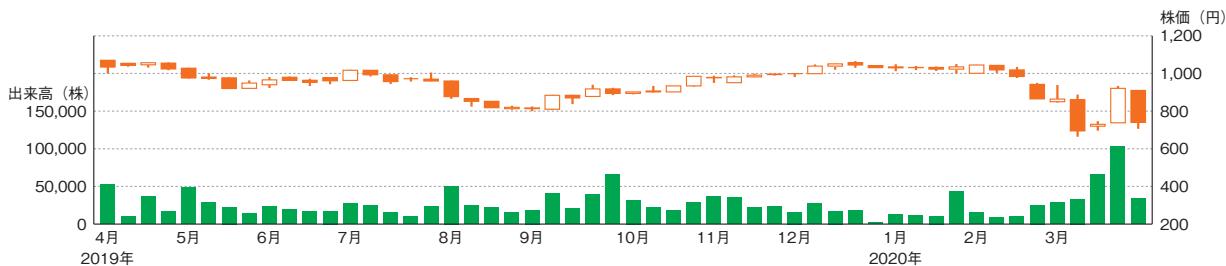
大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数 千株	持株比率 %
有限会社美美興産	1,323	12.05
株式会社大垣共立銀行	500	4.56
みずほ信託銀行株式会社	500	4.55
株式会社十六銀行	493	4.50
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	464	4.23
株式会社三菱UFJ銀行	385	3.50
エスライン従業員持株会	367	3.35
王子運送株式会社	364	3.32
明治安田生命保険相互会社	363	3.31
株式会社市川工務店	320	2.91

株式分布状況



株価の推移



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
剰余金の配当基準日	期末配当 毎年3月31日、中間配当 毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告 公告掲載URL http://sline.co.jp/ ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵送物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 *トラストラウジではお取扱できませんのでご了承ください。 みずほ証券 本店、全国各支店 プラネットブース (みずほ銀行内の店舗) でもお取扱いたします。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行(*)およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取扱いのみとなります) (※)トラストラウジではお取扱できませんのでご了承ください。	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵送物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

株主優待制度について

- 対象となる株主様
毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された100株以上を保有する株主様を対象といたします。
- 贈呈品
 - ①当社株式保有年数が3年未満の場合 クオカード (1,000円分) 1枚
 - ②当社株式保有年数が3年以上の場合 クオカード (2,000円分) 1枚
 ※「当社株式保有年数が3年以上の場合」とは、株主様が同一の株主番号で2017年3月31日の株主名簿から2020年3月31日までの中間期・期末株主名簿に記載または記録されていることをいいます。
- 贈呈時期
毎年、定時株主総会終了後の6月下旬に、「定時株主総会決議ご通知」とともにお送りいたします。



QUOカードイメージ

「エスライン コンテナセンター」を開設しました

海外から輸入される貨物を国内に流通させるには、コンテナからの荷卸し、仕分け、保管、物流加工、輸送等の様々な作業が必要となります。

エスラインコンテナセンターでは、お電話一本で輸入貨物にかかる全ての作業を、エスライングループの充実したインフラ、経験豊

富なノウハウを活用し、一括にてご対応いたします。

詳しくは、当社ウェブサイトのトップページをご参照ください。



株式会社 エスライン

〒501-6013 岐阜県羽島郡岐南町平成四丁目68番地
TEL : 058-245-3131 FAX : 058-240-4850
<http://sline.co.jp/>
当社ウェブサイトも、ぜひご覧ください。

エスライン

検索

